

# おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 5 号 (5 月 19 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## Yリーグ 鶴岡東に劇的逆転勝利

5月16日(土)、Yリーグ1部第2節、鶴岡東戦が行われました。今年から試合数が倍増した関係ですべての試合を天童の人工芝で消化することができず、今節山東は鶴岡会場での試合(鶴岡東総合グラウンド)。相手のホームでの試合。鶴岡東の学校行事の関係で午後からキックオフ。ただし大型バスで7:30に出発し、10:00から鶴工Bと練習試合をして、Yリーグのピッチに立つ以外の選手も試合経験を積んでから午後を迎えた。

試合が始まると、ボールを前にシンプルに運んで相手ゴールに近いエリアで試合をして「良い入り」をしようとの打ち合わせとは逆に、いつもの癖で近い人にショートパスを選択するプレーが目立ち、押し込むことができない。両チームともボールがしっかり収まらない立ち上がり、プアウェイ(ボールから離れる動き)から**松永**の好パスを受けた**FW 大起**が右足でゴールを狙うも、力みすぎでボールはゴール左を通過する。同じような形がもう一度あった後は、チャンスを逃せばピンチが訪れるという勝負の鉄則通り、鶴東の攻撃を受ける展開。**クリアが短くないゴールに近いところでボールを拾われた**(最近のパターン!)後、左サイドでドリブル突破を許し、そして、ゴール前で敵をフリーにして、失点。多くのミスが重なり、悪い流れで失点。45分ハーフと先は長いものの、堅実な守備をしてくる鶴東相手に先制点は許したくなかったというのが正直な気持ち。前半は焦りも重なり、一進一退の展開で終了。

ハーフタイムにて、後半は0-0の気持ちで臨む(焦らず一点を取りに行く)ことを確認。私も顧問をしていて、勝っているときに「0-0の気持ちで行こう(慢心、安心することなく行こう)」と呼びかけることは何度かありましたが、負けているときにそのように言うことはほとんどなかったかと思います。前半は、そのような呼びかけがしっくりくる焦りぶりでした。

そのような確認の作業が功を奏したわけではないでしょうが、後半は落ち着いた攻めで、かなりの山東ペース。鶴東は完全に、しっかり守ってカウンターという作戦に出ている。特に高さや強さのある**DF**が堅い。ここをこじ開けないと勝利はない。後半から左サイドで起用された**藤盛**が縦に中にと果敢にドリブル突破を試み、チャンスメイクをする。守備でも後半から起用された**近藤**が左サイドの守備に安定感をもたらす。そんな中、山東攻撃陣は**GK**との1対1を作り出すなどチャンスは演出するものの、ネットを揺らすまでには至らず、いよいよ焦りがこみ上げてくる。ハーフタイムにて、後半もそのままの点差の場合、後半25分から守りの要である**亀嶋**を**FW**に上げる、との指示を出していましたが、

その指示を実行しなければいけない展開に。それまでも山東の攻めが続く展開でしたが、鬼嶋がトップに就き、さらに山東ペースに。そして後半 32 分、左サイドからパスを受けた鬼嶋が、懐の深さを活かしてゴール前でボールキープした後、足元に入ったボールを思い切って右足トウキック（つま先のキック）。それが絶妙なコントロールでゴール右隅に決まり、待望の同点弾。その後も山東は攻め続け、鬼嶋に触発されたか、**究**も右足トウキックで逆転弾。最後は**直弘**のコロコロシュートがゴール左隅に決まり、最後の 13 分で 3 得点。**結局3-1で山東の逆転勝利**。ハラハラさせたものの、貴重な勝ち点 3 を獲得することができました。

昨年も同じ時期に県リーグにて終盤の逆転劇があり県総体への弾みとなったことから考えると、この劇的逆転勝利は県総体に向け好材料といえるでしょう。しかし前半入りの不安定さ、クリアの不正確さ、アウトサイドをワイドに攻めることの少なさ（サイドをえぐる攻撃の少なさ）、中盤でのプレスの甘さは、県総体に向け、大きな宿題となるでしょう。特に**県総体は 35 分ハーフと今回よりも短いので、最初にペースを握られ失点した場合のリスクがかない高いこと**になります。この試合のような「入り」をしないための工夫が必要でしょう。そんな中、1 年生 GK **泰仁**（通称ヤス）がまずまずの公式戦デビュー。先輩のポジションをどんどん脅かして欲しいものです。

鶴岡まで遠路はるばる多くの OB の方々、保護者の方々が応援に駆けつけてくださりました。ありがとうございました。

## 天皇杯 組み合わせ決まる

Y リーグ 1 部所属チームには天皇杯の県予選の出場権が与えられまして、山東も出場。山東の一回戦の相手は **ultra 西置賜 FC** という社会人チーム。昨年度の県社会人リーグ 1 部 4 位のチーム（9 チーム中 4 位）。もちろん山東のレベルからすれば格上の存在でしょう。別紙の通り、**6 月 14 日(日)長井東陽の里グラウンドにて 11:00 キックオフ**。県総体の次の週となりますので、3 年生を含むメンバーで試合に臨むことができるか（3 年生が引退しているなどということがありやしないか）、心配なところではあります。ともかくも応援よろしくをお願いします。

## 1, 2年生のメディカル・チェックについて

山東サッカー部部員は現在、本校 OB にして JEF 市原チームドクターを勤め現在矢吹病院を運営されている矢吹先生のお力を借りて、メディカル・チェックを行っています。血液検査から食事調査まで含む広範なものです。3,500 円ほど料金はかかりますが、後に本校にいらっしやって、個々人に栄養面まで含めたアドバイスもさせていただきます。食事の調査の記入等、保護者の方にもご面倒をおかけするかもしれませんが、よろしくご協力下さい。食事の調査に際しては、特別な食事を用意していただく必要はございませんので、あくまでいつも通りの食事を作ってくださいようお願いします。